

令和5年度 自己評価報告書

学校法人 フレンド恵学園 認定こども園 浦河フレンドようちえん

- 1 本園の教育方針 ・ 自然を愛する教育 ・ 自由・貢献
- 2 本年度重点的に取り組む目標
 - ・ 安全管理の徹底
 - ・ 森の環境整備
(野外遊びの進化)
 - ・ 園内研修の充実

3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	安全管理の徹底	A	不審者マニュアル、虐待マニュアルを作成し、職員間の共通理解を図るため話し合いを行っている。
2	森の環境整備 (野外遊びの進化)	A	木道や階段を設置し森のフィールドでの野外遊びの幅を広げるための環境整備を行った。安全を考え古木の伐採も行った。
3	園内研修の充実	B	セルフチェックを用いて職員とともに保育を振り返り意識を高めるために研修を行った。又、外部からの講師を招き研修も行っている。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4 総合的な評価結果

評価	理由
A	安全管理に関しては、マニュアルを作成し、職員と会議で共有し合うことができた。 森の環境整備も定期的に行い環境整備を継続して行うことができている。 園内研修に関しては、人手不足のため研修を行っても参加できる人数が少なかった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境整備の推進	保育室の環境整備を、職員が主体的に行うための「プロジェクト」を始める。主任がリーダーとなり、自分たちで優先順位を考えながら環境を整備していく。
2	SDGsの取り組み	自分たちにできるSDGsはどのようなことなのか考えながら行う。 男女別の制服を男女同じTシャツに変える。